



旭川市立高台小学校 学校だより

考える子・仲よくする子・たくましい子

見付ける・かかわる・挑戦する

令和4年 8月22日(月)

たかだい

第9号

令和4年度 2学期始業式校長挨拶

校長 玉井 一行

2学期は「かかわる」～つなげて考える高台っ子に

今日から2学期の始まりです。元気で登校できた高台っ子の皆さんに再会できて、とてもうれしいです。「見付ける・かかわる・挑戦する」夏休みを過ごせましょうか。30日間の夏休みでしたから、楽しいこと、初めてのことなどいろいろあったと思います。けれど、新型コロナ感染の拡大や水害、地震など不安なことの多い夏休みでしたが、心配ばかりしていても何も変わりません。そのような中でも、対策をしっかり取りながら、楽しいことやできることを考え、工夫して行うことで前へ進むことができます。高台っ子の皆さんが、楽しく、安心して過ごせるように願って、2学期の始まりに当たってのお話をします。

2学期は、今年の高台小学校の重点「見付ける・かかわる・挑戦する」の中でも、特に「かかわる」を意識してください。いろいろなくひと・もの・こと>とかかわることで高台っ子の世界が広がっていきます。まずは、一緒に学んでいるときに、いつも仲の良い友達だけではなく、普段なかなか話したことがないくひと>や、苦手だと思っているくひと>に自分から声を掛けて、かかわってください。相手を知ることで、そのくひと>のよさに気付いたり、新しいお友達が増えたりします。そして、くものやこと>とかかわるについては、学習や学びでいうと、かかわりを見付けて「つなげる」ことを意識してください。

校長先生が小学生の頃、昭和の時代には、勉強して新しく分かったことや見付けたこと、知ったことは、頭の中にたくさんたくさんある小さな引き出しの一つずつ入れてしまっていました。忘れないように、何度も引き出しを開けたり閉めたりして、確かめていました。繰り返しが大切にされていたのです。漢字の勉強だと、「力」の引き出し、「頭」の引き出し、「森」の引き出し…というようにです。でも、頭のよい人、かしこい人は、その引き出しを仲間分けしたり、名前を付けて整理・整頓して使いやすくしていたのです。

さて、令和時代の皆さんはというと、学んだことをひとつずつ引き出しにし

まうなんてことはせずに、知っていることや分かったことを、「いつでもすぐに使える道具」のようにすることが大切です。大事なことやいつでも必要なこと関係のあることなどを「つなげて」、どのような場面でも使えるように、ひもとひもでつなげていくような学びが大切なのです。例えば、漢字ならひとつずつだけではなく、体に関係のある漢字ならにんべんと～、水に関係がある漢字ならさんずいと～、とか、漢字だけではなく、花のことを知りたいなら、植物図鑑で調べたり、花の研究をしている専門の人に聞いてみると良いとか、「調べ方」や「解決方法」についてまで「つなげる」ような学びです。スマホやタブレットで検索して見付けたことは、それだけで分かったことにはなりません。正しいかどうかを判断して、関係のあることと「つなげて」使えるようにするのは、関係が深いものや大切なことは、どんどん太いひもでつながっていきます。太いひもがどんどん太くなると、皆さんの頭の中には、とても速く自分の考えを決めることのできる「高速道路」ができあがります。こうすると、関係のあるものが素早くつながって、使いやすくなるので、役に立つ、使える「学び」となるのです。スマホやタブレットで検索して見付けたことは、それだけでは、分かったことにはなりません。正しいかどうかを判断して、関係のあることと「つなげて」使えるようにするのは、

心配ばかりしていたり、困ってばかりしていたりしないで、自分だけで難しいときには、周りの人とたくさん「かかわって」、問題を解決しましょう。授業中だけが問題を解決する場所や場面ではないのです。感染症やいじめの問題、自然災害など、皆さんの生活と授業をつなげて考えてください。心配することがたくさんあるかもしれませんが、楽しいこと、嬉しいこともたくさんあるのです。

未来を変えられるのは、未来を変えようとする皆さんです。「ひと・もの・こと」とどんどんつなげて「かかわる」2学期を過ごしましょう。